

男子銀 女子銅

400メドレーリレー



競泳陣、戦後最多メダル11個

に輝くのは初めて。



入江陵介(イトマン東進)北島康介(日本コカ・コーラ)松田丈志(コスモス薬品)藤井拓郎(コナミ)が組んだ男子は3分31秒26で過去最高の2位に入り、3大会連続のメダル。北島は日本の競泳で初の3大会連続メダリストとなった。米国が3分29秒35で8連覇し、フェルプスはともに史上最多の金メダル数を18、メダル数を22とした。

ロンドン五輪第9日の4日、400メートルメドレーリレーで日本は男子で銀メダル、女子で銅メダルを獲得した。日本が同種目で男女そろってメダルすべての競泳競技を終え、記念写真に納まる400メートルメドレーリレーで銅メダルを獲得した女子の(前列左から)寺川、鈴木、加藤ゆか、上田と銀メダルを獲得した男子の(後列左から)入江、北島、松田、藤井。水泳センター

競泳で日本のメダルは銀3、銅8となり、戦後最多の11個で大会を終えた。過去最多は金5、銀5、銅2を取った1932年ロサンゼルス五輪。男子1500メートル自由形は孫揚(中国)が14分31秒02の世界新で制した。